

2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社フジオフードグループ本社 上場取引所 東
 コード番号 2752 URL https://fujiogroup.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理本部長 (氏名) 仁田 英策 TEL 06-6360-0306
 半期報告書提出予定日 2025年8月12日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	15,674	1.4	250	△62.6	161	△75.2	13	△96.7
2024年12月期中間期	15,462	4.1	668	-	650	-	392	-

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 42百万円 (△90.6%) 2024年12月期中間期 446百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	0.26	-
2024年12月期中間期	8.65	8.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	27,084	8,549	31.5
2024年12月期	26,310	8,578	32.6

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 8,542百万円 2024年12月期 8,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2025年12月期	-	0.00	-	-	-
2025年12月期（予想）	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,291	3.1	617	△49.3	468	△54.5	45	△90.1	0.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年12月期中間期	51,267,537株	2024年12月期	51,241,921株
2025年12月期中間期	74株	2024年12月期	74株
2025年12月期中間期	51,247,366株	2024年12月期中間期	45,411,293株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(中間連結貸借対照表に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加等により、緩やかな回復基調が続きました。一方で、為替市場やアメリカの政策動向、ロシア・ウクライナ間の紛争や中東情勢の地政学的リスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、人流の回復やインバウンド消費の拡大等により堅調な需要が続いているものの、食材やエネルギー価格、人件費の上昇等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」を中心とした全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、売上高156億74百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益2億50百万円（前年同期比62.6%減）、経常利益1億61百万円（前年同期比75.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益13百万円（前年同期比96.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「麺乃庄 つるまる」、「さち福や」、「天麩羅 えびのや」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のABC分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発を行いました。また、季節ごとのフェアメニューの推進、既存店舗の美装改装、SNSやメディアを活用したブランド認知度の向上等による集客力向上施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は148億74百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は14億33百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、加盟企業及び社員独立による営業委託者とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指しております。

主な活動といたしましては、フランチャイズ加盟開発の強化、現環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。また、更なる事業規模拡大に向け、直営店の売却・営業委託を積極的に進め、ストック型のビジネスモデルへの転換に努めてまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は7億99百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は5億75百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

当社グループの2025年6月末時点の店舗数は706店舗（直営店（国内）388店舗、直営店（海外）5店舗、委託店（国内）83店舗、FC店（国内）211店舗、FC店（海外）19店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	委託店 (国内)	FC店 (国内)	FC店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	78	2	27	160	7	274
神楽食堂 串家物語	68	-	5	26	2	101
麺乃庄 つるまる	33	-	13	10	7	63
さち福や	34	-	3	6	2	45
天麩羅 えびのや	31	3	2	3	1	40
その他	144	-	33	6	-	183
合計	388	5	83	211	19	706

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は7億73百万円増加し、270億84百万円となりました。

資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末から6億52百万円増加し、固定資産が1億21百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、有価証券の増加9億98百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は、有形固定資産の増加1億21百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して8億2百万円増加し、185億34百万円となりました。これは主に、買掛金の減少1億51百万円、借入による増加11億61百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する中間純利益の計上、配当金の支払い、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行等により、前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、85億49百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが4億90百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが24億21百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが10億45百万円の収入となり、この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して8億93百万円減少し、115億25百万円(前年同期は59億93百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは4億90百万円の収入(前年同期は8億78百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益が78百万円になったことに対して、非現金支出である減価償却費が2億66百万円、のれん償却額が48百万円、減損損失71百万円が発生し、預け金の減少3億85百万円、利息の支払額1億9百万円、法人税等の支払額2億41百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは24億21百万円の支出(前年同期は3億58百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出4億35百万円、有価証券の取得による支出21億97百万円、信託受益権の取得による支出15億円に対し、有価証券の償還による収入11億99百万円、信託受益権の償還による収入6億50百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは10億45百万円の収入(前年同期は6億34百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入れによる収入25億円に対し、長期借入金の返済による支出13億38百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえて修正いたします。詳細につきましては、本日(2025年8月12日)公表いたしました「2025年12月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,738	11,877
売掛金	634	660
有価証券	-	998
棚卸資産	194	137
前払費用	266	303
未収入金	150	140
預け金	1,274	889
その他	71	975
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,328	15,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,546	3,622
工具、器具及び備品(純額)	203	255
土地	740	740
建設仮勘定	26	15
その他(純額)	81	86
有形固定資産合計	4,598	4,720
無形固定資産		
のれん	1,269	1,220
その他	29	57
無形固定資産合計	1,298	1,278
投資その他の資産		
投資有価証券	343	401
関係会社株式	165	168
繰延税金資産	10	10
敷金及び保証金	3,525	3,485
その他	1,210	1,208
貸倒引当金	△169	△169
投資その他の資産合計	5,085	5,105
固定資産合計	10,982	11,104
資産合計	26,310	27,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,558	1,407
1年内返済予定の長期借入金	1,510	1,842
未払金	1,492	1,461
未払費用	589	518
未払法人税等	289	95
未払消費税等	256	202
賞与引当金	19	1
株主優待引当金	444	514
資産除去債務	20	10
その他	377	437
流動負債合計	6,557	6,492
固定負債		
長期借入金	9,141	9,971
リース債務	59	67
資産除去債務	1,075	1,090
預り保証金	213	220
繰延税金負債	137	154
持分法適用に伴う負債	500	500
債務保証損失引当金	34	27
その他	14	10
固定負債合計	11,174	12,041
負債合計	17,732	18,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,956	5,971
資本剰余金	6,661	5,149
利益剰余金	△4,151	△2,713
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,466	8,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	68
為替換算調整勘定	78	66
その他の包括利益累計額合計	106	135
非支配株主持分	6	6
純資産合計	8,578	8,549
負債純資産合計	26,310	27,084

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,462	15,674
売上原価	5,369	5,598
売上総利益	10,092	10,075
販売費及び一般管理費	9,423	9,825
営業利益	668	250
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	3	5
持分法による投資利益	4	0
その他	42	33
営業外収益合計	51	44
営業外費用		
支払利息	49	105
支払手数料	1	3
その他	19	23
営業外費用合計	69	133
経常利益	650	161
特別利益		
固定資産売却益	4	2
受取立退料	39	-
その他	3	-
特別利益合計	46	2
特別損失		
店舗解約損	23	12
固定資産除却損	0	0
減損損失	168	71
特別損失合計	192	85
税金等調整前中間純利益	504	78
法人税等	111	64
中間純利益	393	13
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	392	13

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	393	13
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	40
為替換算調整勘定	19	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	53	28
中間包括利益	446	42
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	446	41
非支配株主に係る中間包括利益	0	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	504	78
減価償却費	270	266
のれん償却額	48	48
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△17
株主優待引当金の増減額(△は減少)	23	70
受取利息及び受取配当金	△5	△10
支払利息	49	105
支払手数料	1	3
株式報酬費用	3	11
為替差損益(△は益)	△7	5
店舗解約損	23	12
固定資産売却損益(△は益)	△4	△2
固定資産除却損	0	0
減損損失	168	71
持分法による投資損益(△は益)	△4	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△9	△25
棚卸資産の増減額(△は増加)	38	56
仕入債務の増減額(△は減少)	△56	△149
預け金の増減額(△は増加)	176	385
未収入金の増減額(△は増加)	△69	9
未払金の増減額(△は減少)	△84	1
未払消費税等の増減額(△は減少)	△150	△53
その他	85	△38
小計	990	830
利息及び配当金の受取額	5	10
利息の支払額	△49	△109
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△68	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	878	490

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△298	△435
有形固定資産の売却による収入	7	3
固定資産の除却による支出	△118	△72
定期預金の預入による支出	△168	△243
定期預金の払戻による収入	167	201
有価証券の取得による支出	-	△2,197
有価証券の償還による収入	-	1,199
信託受益権の取得による支出	-	△1,500
信託受益権の償還による収入	-	650
貸付けによる支出	-	△15
貸付金の回収による収入	2	5
敷金及び保証金の差入による支出	△7	△19
敷金及び保証金の回収による収入	137	65
その他	△81	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358	△2,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	2,500
長期借入金の返済による支出	△807	△1,338
株式の発行による収入	187	-
配当金の支払額	△0	△102
リース債務の返済による支出	△13	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634	1,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△101	△893
現金及び現金同等物の期首残高	6,094	12,418
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,993	11,525

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月27日開催の第26回定時株主総会決議により、資本準備金を1,692百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を1,424百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
商品	61百万円	25百万円
原材料及び貯蔵品	133	111
計	194	137

(中間連結損益計算書に関する注記)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
給料手当	3,614百万円	3,650百万円
地代家賃	2,189	2,174
賞与引当金繰入額	7	1
株主優待引当金繰入額	180	385

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
現金及び預金勘定	6,290百万円	11,877百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△297	△351
現金及び現金同等物	5,993	11,525

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	2,509	—	2,509	—	2,509
神楽食堂 串家物語	3,751	—	3,751	—	3,751
麵乃庄 つるまる	563	—	563	—	563
さち福や	1,574	—	1,574	—	1,574
天麩羅 えびのや	1,050	—	1,050	—	1,050
その他	5,227	—	5,227	—	5,227
FC加盟金売上	—	78	78	—	78
FCロイヤリティ売上	—	352	352	—	352
FCイニシャル売上	—	37	37	—	37
FCランニング売上	—	316	316	—	316
顧客との契約から生じる収益	14,677	784	15,462	—	15,462
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,677	784	15,462	—	15,462
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	14,677	784	15,462	—	15,462
セグメント利益	1,584	536	2,120	△1,452	668

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,452百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては168百万円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	2,495	—	2,495	—	2,495
神楽食堂 串家物語	3,721	—	3,721	—	3,721
麺乃庄 つるまる	835	—	835	—	835
さち福や	1,608	—	1,608	—	1,608
天麩羅 えびのや	1,051	—	1,051	—	1,051
その他	5,161	—	5,161	—	5,161
FC加盟金売上	—	91	91	—	91
FCロイヤリティ売上	—	372	372	—	372
FCイニシャル売上	—	52	52	—	52
FCランニング売上	—	284	284	—	284
顧客との契約から生じる収益	14,874	799	15,674	—	15,674
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,874	799	15,674	—	15,674
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	14,874	799	15,674	—	15,674
セグメント利益	1,433	575	2,009	△1,759	250

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,759百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては71百万円であります。